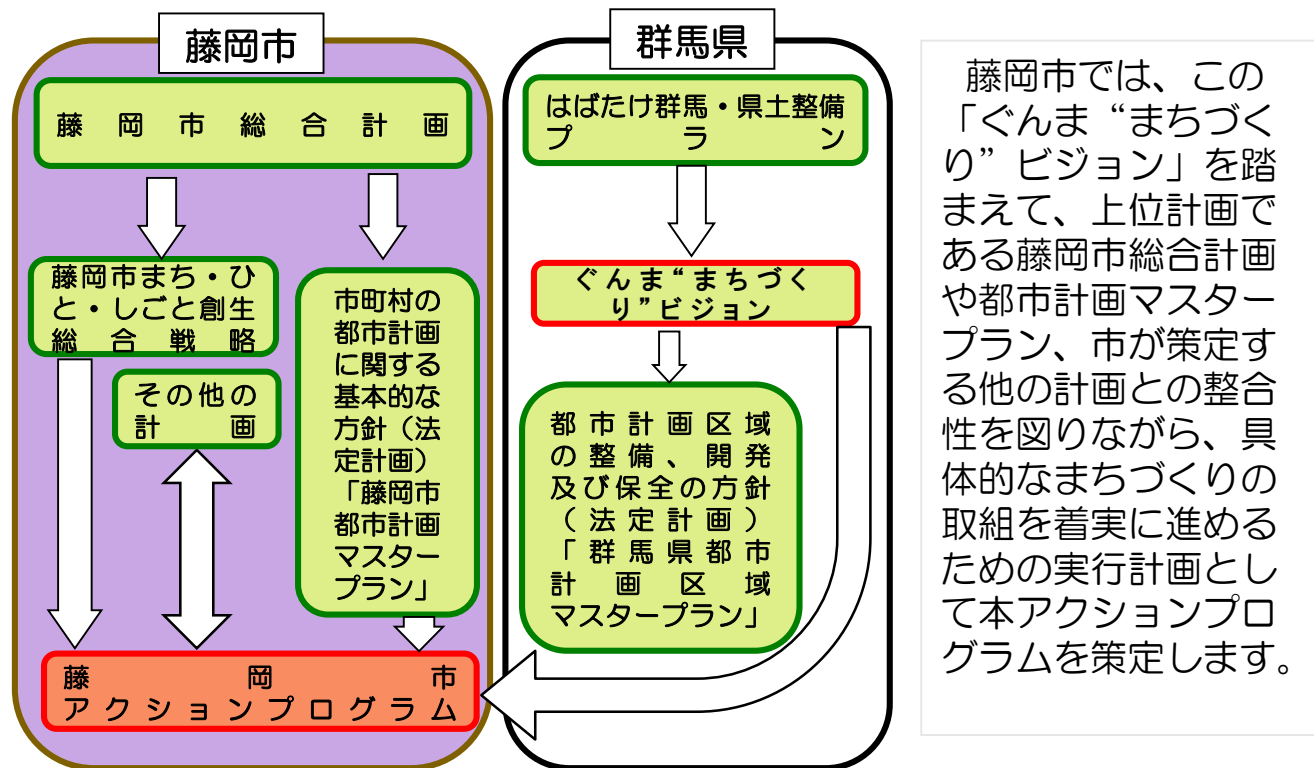


ぐんま“まちづくり”ビジョン 藤岡市アクションプログラム【概要版】

1. 藤岡市アクションプログラムの位置づけ



2. 藤岡市に今後生じる望ましくない状況

このまま人口減少と高齢化が進行した場合に、藤岡市の「まちなか」及び「郊外と中山間地域」のまちづくりに生じる課題を、群馬県と藤岡市の職員がワークショップ形式で議論した結果、次のような望ましくない状況が生じると考えられます。

まちなか

居住者が減少する、交流人口が減少する
↓
まちのにぎわいなくなる

郊外と中山間地域

コミュニティが衰える、交流人口が減少する、生活の利便性が低下する
↓
まちが維持できなくなる

3. 藤岡市が目指す望ましいまちの将来像

『郷土を愛し 未来を創生する藤岡』

「郷土を愛し」とは、長い年月で培われた歴史、文化や豊かな自然を有する本市を、市民一人一人が郷土として愛し、誇りに思っていることを表しています。「未来を創生する藤岡」とは、郷土を愛する市民と行政が協働してまちづくりを進め、明るい未来を創っていく藤岡を表しています。（第5次藤岡市総合計画より）

4. 藤岡市のまちづくりで今後必要となる基本目標と取組内容

望ましい将来像のまちづくり「郷土を愛し 未来を創生する藤岡」の実現に向けて、以下を基本目標とします。

まちなか

活力に満ち溢れたにぎわいのあるまちづくり

郊外と中山間地域

地域の特性を活かした魅力あるまちづくり

基本目標を実現するため、必要となる取組を「ぐんま“まちづくり”ビジョン」の基本方針に基づく取組内容から次のとおり選択します。

基本方針1から ▶都市機能の拡散を抑えるとともに、「まちのまとまり」を維持し、公共交通との連携を進めることで生活利便性の向上を図ります。

基本方針2から ▶まちなかの空き地・既存施設の有効活用等により、拠点へ都市機能を集約し、まちなか居住を推進することで、まちのにぎわいを維持します。

基本方針3から ▶地域の個性や景観を活かした魅力あるまちづくりを推進するとともに、さまざまな生活環境の向上を図り、藤岡市への移住定住を促進します。

基本方針4から ▶公共交通の充実や道路網の整備により、都市間移動と都市内移動の利便性向上を図り、各地域や拠点間の交流を促進します。

基本方針5から ▶防災対策の強化、インフラ整備などにより、市民の安心安全な暮らしを維持します。

基本方針6から ▶工業団地整備による企業誘致を進めることにより地域の活性化を図ります。

5.重点プロジェクト

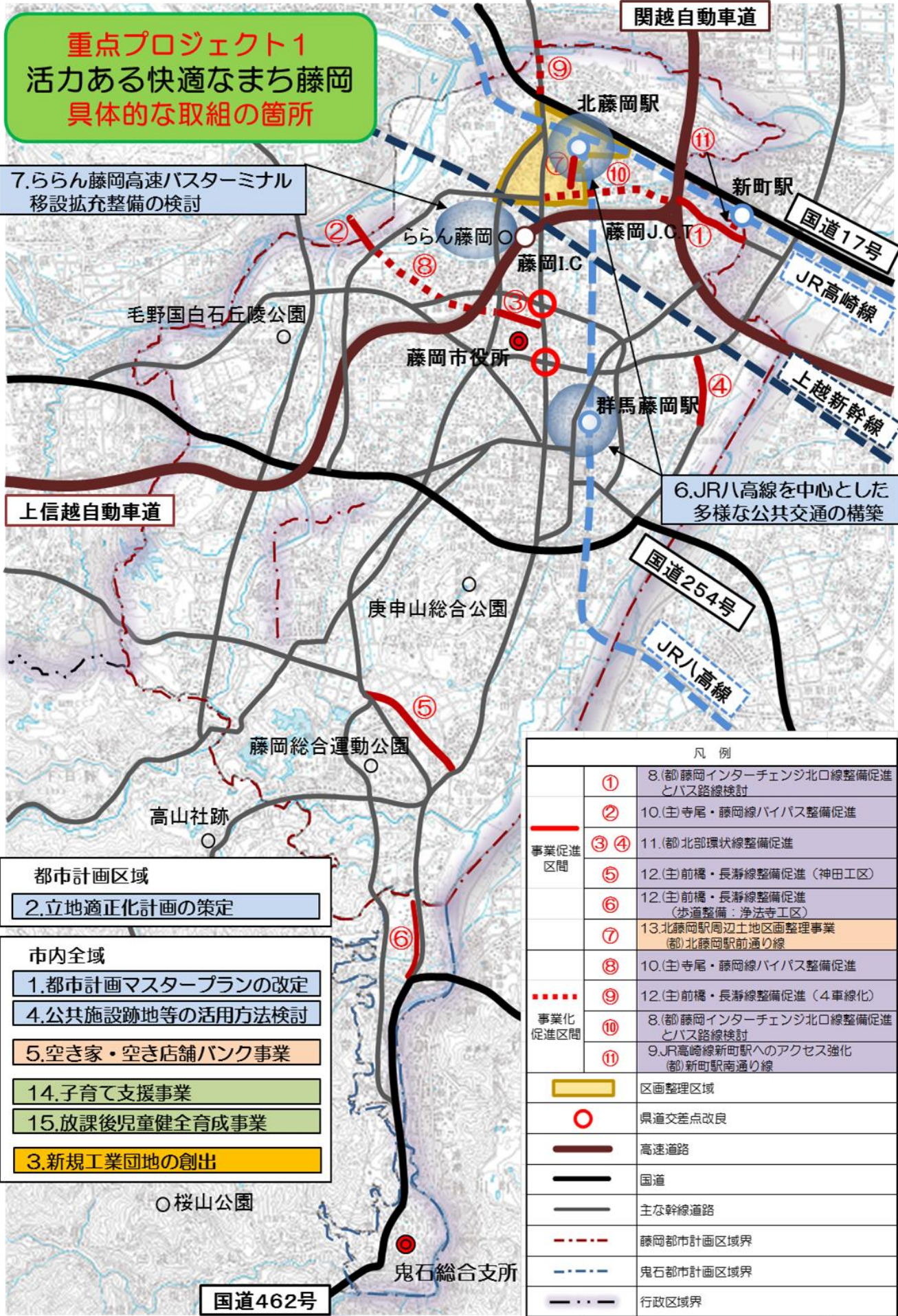
藤岡市が目指すべき望ましいまちを実現するにあたり、事業の確実性及び効果の大きさなどを考慮して複数の関連事業を抽出し、一つのプロジェクトとして重点的に取り組みます。

重点プロジェクト1 活力ある快適なまち藤岡

中心市街地や鉄道駅周辺へ都市機能を集約するとともに、相互のアクセス道路整備を進め、利便性の向上に努めます。また、まちなかの渋滞緩和を図るため環状道路など道路ネットワークを強化し、良好な居住環境の形成と定住人口の確保を図ります。

成 果 指 標	基 準 年	目 標 年
市の人口(人)	(平成29年)	(平成34年)
	64,680人	64,000人

目 的	具 体 的 な 取 組 内 容	実 施 体	工 程 表					市 担 当 課	取組状況
			30年	31年	32年	33年	34年		
【目的1】 持続可能な土地利用方針の策定	1. 都市計画マスタープランの改定	市	改定	活用				都市計画課	継続
	2. 立地適正化計画の策定	市	策定	活用				都市計画課	継続
	3. 新規工業団地の創出	県市						商工観光課 都市計画課	新規
【目的2】 空き地・既存施設の有効活用	4. 公共施設跡地等の活用方法検討	市						企画課 都市施設課	継続 新規
	5. 空き家・空き店舗バンク事業	市						建築課	継続 新規
【目的3】 道路・公共交通の利便性確保	6. JR八高線を中心とした多様な公共交通の構築	市						地域安全課	新規
	7. ららん藤岡高速バスターミナル移設拡充整備の検討	市						企画課	継続
	8. (都)藤岡インターチェンジ北口線整備促進とバス路線検討	市						地域安全課 都市施設課	継続 新規
	9. JR高崎線新町駅へのアクセス強化(都)新町駅南通り線	県市連携						都市計画課	検討 新規
	10. (主)寺尾藤岡線バイパス整備促進	県						都市計画課	継続
	11. (都)北部環状線整備促進	市						土木課 都市施設課	継続
	12. (主)前橋長瀬線整備促進	県						土木課 都市計画課	継続
	13. 北藤岡駅周辺土地区画整理事業(都)北藤岡駅前通り線	市						区画整理課	継続
	14. 子育て支援事業	市						子ども課	継続
【目的4】 快適な居住環境の形成	15. 放課後児童健全育成事業	市						子ども課	継続



重点プロジェクト2
地域資源を活かすまち藤岡

藤岡の魅力ある自然・歴史・文化等を保全・活用し、その強みを活かして地域の魅力を向上させ、まちのにぎわい創出と交流人口の増加を図ります。

成 果 指 標	基 準 年	目 標 年
観光入込客数(千人)	(平成29年)	(平成34年)
	3, 5 5 6千人	3, 6 7 6千人

目 的	具 体 的 な 取 組 内 容	実 施 主 体	工 程 表					市 担 当 課	取 組 状 況
			3 0 年	3 1 年	3 2 年	3 3 年	3 4 年		
【 目 的 1 】 地域資源の 保 全 ・ 活 用	1. 景観の保全	市						都市計画課	継 続
	2. 毛野国白石丘陵公園整備事業	市						都市施設課	継 続
【 目 的 2 】 地 域 の 魅 力 向 上	3. 中央通り商店街の無電柱化事業	県						土 木 課	継 続
	4. 移住促進PR事業	市						企 画 課	継 続
【 目 的 3 】 集 客 機 能 の 充 実	5. 上州藤岡蚕マラソン (高山社跡の有効活用)	市						スポーツ課	継 続
	6. 庚申山総合公園整備とふじまつり・ さくらまつりのPR活動	市						都市施設課 商工観光課	継 続
	7. 冬桜の里の新たな集客活動	市						に ぎ わ い 観 光 課	継 続 新 規
	8. 広域観光連携	市 連 携						企 画 課	継 続
	9. 駅からハイキング事業	市 J R						企 画 課	継 続
	10. 高山社跡保存整備事業	県 市						文 化 財 保 護 課	継 続
	11. 高山社跡周辺の無電柱化事業	県						土 木 課	継 続
	12. ららん藤岡「ETC2.0賢い料金」導入 の是非を検討	市						企 画 課	新 規

